

1. 城郭を背景にした菖蒲庭園（日本一の菖蒲城）

五十公野公園との違いを明確にして連携をはかり両方が生きる

植栽に関して

花菖蒲メインでなく、イチハツ アヤメ 花菖蒲とアヤメ科（他カキツバタ、ジャーマンアイリス等）と連続して咲き期間を五十公野公園より早く長くする。

お城に以前からあったアヤメ（以前新聞記事にあった）を収集し増やす
花菖蒲を交配し新品種をつくり、市民公募で銘々しそれを増やしていく。

アヤメの植え替え等は、市民や学校に呼びかけ子供たちの思い出に残るように行なうことで、愛着を感じてもらおう

イベント、企画

アヤメの花壇、鉢植え等のコンクールをして、植栽方法を競う。

商店街や街中がアヤメで咲き誇るよう、プランターや花壇にも植え日本一の菖蒲の街にする

アヤメのみでの収入も検討

アヤメの苗や切花の販売（JA、農高、農家と連携し新品種開発も含む）

染物、お菓子、カクテル、キャラクター等々関連商品（加賀市と共同開発等もあり）

庭園入場料（期間限定もしくは市民、高齢者は無料もしくは安価）

飲食店、物産店、他施設利用料や販売機等

菖蒲が咲かない時期の庭園

歴史的な樹木を生かした構想

例：今に残る歴史ある樹木の活用や安兵衛手植えの松の子孫の植樹等、花木にもストーリーを与える）

新発田城の四季を感じる景観づくり（春＝桜、夏＝アヤメ、秋＝紅葉、冬＝松の雪つり）

例：兼六園の雪吊りのように、城との背景を考えた景観を作りだす。

雪囲いの技術を競い合う

交流友好の証～合併前の町村や友好姉妹都市の花木の植栽

豊浦地区の花＝アジサイ 木＝梅

紫雲寺地区の花＝レンギョウ、ムクゲ、菊 木＝松

加治川地区の花＝さくら草、芝ざくら、秋桜 木＝桜

須坂市＝レンゲツツジ 加賀市＝花菖蒲

水遊びや歴史的玩具での遊び場の創出

凧揚げ場所、砂場、板張りの迷路等、工夫して遊ぶ場所づくり

2. 歴史的景観を作り出す建築物の利用

市内に残る歴史ある建築物を現状の場所での維持が不可能であれば当該地への移築を優先的に検討し保存する

リストを作成し（例：白壁兵舎、旧新潟大学分校校舎、 家の蔵）その中で当該地への景観や利用方法等に適したものを選定する。選考外のものも保存を検討する。

過去にあった歴史ある建築物を復元し利用する

リストを作成し（例：保存武家屋敷、家老屋敷、本丸御殿、土橋門、太鼓櫓）費用、利用価値、歴史的価値、景観等を検討し選定する。

目的を重視して機能を加味した施設を景観を踏まえて新たな発想で建築し利用する

天候に関係なく利用できる（健康維持のために、雪の日に歩ける場所）高齢者も利用でき、多目的に利用できる。

3. 建築物の中身の充実（建物を生かす）

新発田藩の歴史館的なもの（エピソードも含む）

- ・溝口家（尾張、高浜、大聖寺等の土地や信長、秀吉、越前朝倉家、山内家、大倉喜八郎、堀部安兵衛との関係）
- ・幕末の藩の動向（会津、長岡、米沢等との関係や飛び地の悲哀等）
- ・アピールポイント（外様で江戸時代に移封せずにいた。市章が家紋、城が現存、藩、軍隊、自衛隊とつづく）
- ・藩政以外の歴史～新発田家（大河ドラマと関連）、富樫家（一向一揆と関係）、安中家（安中藩との関係）
- ・歴史に特化した図書館（語りべもいるような、書籍と人物から学べる）

テーマ館（偉人、文化、酒造、農業、行事等）

例：堀部安兵衛記念館を誕生の地とリンクし沼垂小の手植えの松や各地の伝承の紹介や刀剣や道場も併設

物産館（伝承館的要素も含む）

和菓子、洋菓子、飲食、農業、水産、酒造、工芸、書籍等

医学伝承館

藩として全国で3番目に医学館を作った歴史から、陸軍、国立、県立とたどった歴史を紹介し、今後の医療や福祉に関する情報発信や健康増進のための歩くスペースや健康法の紹介など医療福祉施設間の老人の交流出来る場所をつくる

チャレンジショップ

- ・意欲のある人がチャレンジしやすく、気に入った考えやお店を、市民個々の手で応援出来るシステムを作る。
- ・学校教育や専門課程の勉強を実践社会で生かす場

4. 親切明快な案内板と交通網の整備（新発田城前バス停の設置含む）